

京都芸術大学を学ぶ

2026

人間館正面の五九階段を登りきったところに「藝術立国之碑」が  
みなさんを迎えるように、屹立しています。

その碑文には学校法人瓜生山学園創設者である故 とくやましようちよく徳山詳直が

建学の理念としてかかげた「藝術立国」への思いが刻まれています。  
本学で学ぶ者、教える者、創造活動にいそしむ者は、

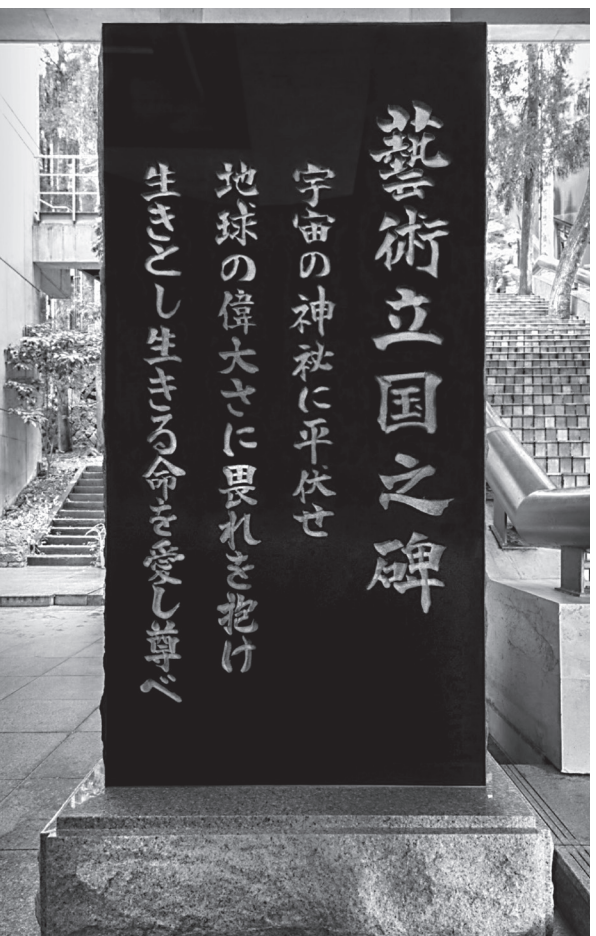
ここにのべられている理念を胸にとどめてみてください。

必ず、明日に向かって生き抜く勇氣と、芸術に対する真摯な憧憬を  
自己のうちに見いだすことができるでしょう。

宇宙の神秘に平伏せ

地球の偉大さに畏れを抱け

生きとし生きる命を愛し尊べ



## 本学の一員となった若きみなさんに贈る

刊行のことばにかえて

新入生のみなさん、入学おめでとう。在校生のみなさんも、新学期を迎え、期待に胸を膨らませていることでしょう。

四月、この学び舎に集うみなさんのよろこびと、みなさんを迎えることができた私たち教職員のよろこびはひとつです。

なぜなら、若いみなさんの活力こそが本学の生命だからです。

一九七七年、学校法人「瓜生山学園」は京都初の芸術系単科短期大学として京都芸術短期大学を創設しました。そして、多年にわたり教育・研究・社会貢献活動の実績を積み重ねて、一九九一年に京都造形芸術大学を開学し、二〇〇〇年に京都芸術短期大学と統合して新たな総合芸術大学となりました。その間、一九九六年に大学院を、一九九八年には通信教育部を創設し、次つぎに時代の要請を先取りして新しい門戸をつくり、あらゆる人びとに芸術の学びの場を開いてきました。

このように、本学は単なる高等教育機関に甘んずることなく、大学創設いらい、高い志をかかげ、教育と創造・研究の場であろうと努めてきました。二〇二〇年には、本学のこれまでの歩みと現状の学問領域、将来構想を踏まえて、その教育内容や活動に相応しい大学名称として、「京都芸術大学」へと名称を変更しました。

私たちが第一に伝えたいことは、若いみなさんに寄せる、心からの愛情と期待です。本

学の創設者、徳山詳直が心血を注いで、幾度となく推敲を重ねて書きあげた「まだ見ぬかもたちに―瓜生山学園設立の趣旨―」を読んでみてください。

次いで、この大学が京都という地に生まれたこと、そしてこの京都というまちがその歴史創造の過程において、日本文化の発展にとってことばで言いあらわすことができないほど大きな役割をはたしてきたことを、「京都文藝復興」という宣言にまとめ、これからの日本と世界の芸術創造活動の源泉である、京都の未来を担おうと決意しました。

さらに、本学が創立三〇周年を迎えた二〇〇七年春に「芸術立国―平和を希求する大学をめざして―」で、改めて本学の理念を鮮明にして大学内外によびかけました。

戦争が、人類を憎しみのつばに投げこみ、その文明の破壊をおしすすめるものであることは誰の目にもあきらかです。しかしなお、世界には戦火が絶えません。また、地球を覆う深刻な環境破壊、温暖化、爆発的な人口増加、科学技術の力をもつてしても制御しえない核問題など、私たちの前にたちはだかる壁はあまりにも巨大です。しかし、私たちは、それゆえに、芸術こそ、国家をこえて人と人との心をつなぎ、これらの巨大な壁をのりこえてゆく勇気を与えるものであると確信しています。

本学を巣立った多くのわかものが、今や日本中で、いや世界ですぐれた業績をあげつつあります。彼・彼女たちは学窓を離れたとはいえ、私たちがかかっていたこれらの理念を志として研鑽してくれているもの、と信じています。

若きみなさん、これからの学びの過程で、とまどい、迷うことがあれば、その時はぜひ本書をひもといってみてください。本書がみなさんの悩みを解きほぐす糸口となってくれることでしょう。そして友人や教職員は、みなさんとともにその悩みを分かちあってくれる

ことでしよう。そしてまた新しい創造と研鑽のための勇氣、生きる意志を与えてくれるに  
ちがいありません。

この先に、たとえ幾多の困難が待ち構えていようとも、手を携えてともに生きぬきま  
しょう。一度しか与えられぬ尊い「命」のために。

みなさんの輝く瞳に心からの共感をこめて、本書を贈ります。

なお本書は内容ごとに大別して三部で構成されています。第一部は学園創設以来、徳山  
詳直が書き上げた本学の建学の理念と、その後の展望にかかわる宣言文とその解説。第二  
部は本学の発展・あらたな発信にかかわる宣言文とその解説。そして第三部では大学の現  
状を、学修・進路・国際交流・施設などの分野ごとに最新の情報でお知らせしています。  
その後、資料と年表があります。

二〇二六年四月 『京都芸術大学を学ぶ』 編纂会議

☆『瓜生山学園三〇年史―京都芸術短期大学・京都造形芸術大学』は  
人間館の「芸術文化情報センター」でいつでも閲覧することができます。

## 第一部 建学の理念から藝術立国への道 009

まだ見ぬわかものたちに 瓜生山学園設立の趣旨 010

京都市藝復興 026

藝術立国 平和を希求する大学をめざして 031

## 第二部 発信する学園 047

外苑キャンパス開校の報告

藝術立国の運動を世界へ 弥生の京都、縄文の東北、現代日本の中心・東京、三つの拠点を結んで 048

こども芸術大学 設立の宣言 〈母なる大地〉の回復を願って 054

文明哲学研究所 設立の宣言 核廃絶と世界平和のために 060

## 第三部 京都芸術大学を知る 069

学生に一番伝えたいこと 117 大学の将来計画 129

資料・年表 133